

令和３年度行政評価（令和２年度実績）に係る新見市総合計画等外部評価委員会意見の反映状況一覧

令和３年度行政評価（令和２年度実績）において、外部評価委員会から示された意見等に対する反映状況は以下のとおりです。

Ⅰ 第３次新見市総合計画

１ 産業・経済

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
① 農業	「有害鳥獣対策事業」について、カワウが市街地でも見られ、増加している印象がある。カワウによる被害対策を迅速に進めていただきたい。	実施済	【農業畜産振興課】 現在、岡山県カワウ対策協議会において、ねぐらやコロニーの分布管理や、繁殖抑制による個体管理等の効果的な被害対策の研究を進めております。 本市としては、引き続き、当協議会を含めた各種団体との連携強化及び情報共有を行ってまいります。
	農業や畜産を担う人材の確保に引き続き取り組んでいただきたい。	実施済	【農業畜産振興課】 令和３年度に実施した新規就農相談会 10回 令和４年度では、新型コロナウイルスの影響で減少していた対面式の相談会が開催されるため、積極的に取り組んでまいります。
④ 鉱業・工業	「資格取得費支援事業」については、事業者からのニーズは高く、雇用の確保・定着の一助になっている事業であると評価されているので、継続して取り組んでいただきたい。しかし、より充実した事業とするためには、資格取得者の定着状況や就業状況を資格ごとに分析する必要があるのではないか。	実施予定	【商工観光課】 今後も、雇用情勢や事業者の実情等を踏まえた制度の見直しや拡充が必要と考えており、そのためには定着状況や就業状況の分析も必要と考えますので、その手法について検討してまいります。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
⑤ 商業・サービス業	当該項目の施策目標は「魅力向上と創業・事業継承で、持続的発展を促進する」であるが、施策評価シートに創業支援についての記載はあるが、事業継承に対する具体的な事業と評価が見えない。	実施済	【商工観光課】 事業承継を行った事業者も対象とする新見市創業・事業承継支援事業補助金は、令和3年4月1日より施行となりました。令和3年度は2件の第三者承継の支援を行いました。 今後、補助金による支援のみに留まらず、年2回開催している創業支援セミナーに事業承継の内容を盛り込むなど、さらなる支援の充実を検討してまいります。
	「法務局証明サービスセンター運営事業」について、「事業継続の是非を判断するための基準設定などの検討が必要である。」とあるが、出来るだけ継続していただきたい。また、さらなる利便性向上を図るため、センター内で印紙販売ができないか。	実施予定	【商工観光課】 可能な限り事業は継続してまいりたいと考えております。利便性向上に向けた印紙販売の方法も研究中であります。
⑥ 観光	施策評価シートに「A級グルメ」の記載がない。新型コロナの影響もあると思うが、A級グルメを定着させ、新見市を売り込んでいくことに力を入れていただきたい。あわせて市外に販売することや、市外から食べに来てもらうという推進体制も必要ではないか。	実施済	【商工観光課】 本市にある高級食材は「A級グルメ」と称した主要な観光資源である旨を積極的にPRし、A級グルメの定着を図っております。また、引き続き、市外イベントへの出展や旅行代理店への売り込みを積極的に行い、販売経路の拡大や推進体制の構築に繋げてまいります。
	県外の方は「千屋牛」の「ちや」が読めない方が多い。ブランド化を進めていくうえでは、PRを積極的に行っていただきたい。	実施済	【商工観光課】 パンフレット、チラシ、HPやイベント出展時に本市の主要な観光資源の1つとして積極的にPRしております。なお、紙媒体に表記する場合は読み仮名を、また口頭でPRする際には「せんや」と書いて「ちや」と読むなどの説明を必ず行っております。

2 健康・福祉

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
② 医療	「新見市ドクターネットワーク事業」について、医師確保の観点からも医療を支えていると思うので、引き続き取り組んでいただきたい。	実施済	【健康医療課】 当該事業を継続するとともに、市報に幹事医師によるコラムを掲載し、ドクターネットワークの周知に努めてまいります。
	「にいみ24時間安全安心相談ダイヤル事業」について、コロナ禍で病院を受診しにくい状況の中では、こうした電話での対応ができれば、市民にとっても良いことだと思うので、引き続き取り組んでいただきたい。	実施済	【健康医療課】 市民の安心につながるよう、当該事業については引き続き実施してまいります。
	「にいみ24時間安全安心相談ダイヤル事業」について、「本事業を知らない市民も見受けられることから、周知方法を検討する必要がある。」とあるが、周知すれば多くの需要があると思うので、PR方法を検討していただきたい。	実施予定	【健康医療課】 今後具体的な活用場面を想定したチラシを作成するなどして、効果的な周知に努めていく予定としております。
④ 高齢者福祉	看護人材不足の対応については、「看護学生奨学支援金給付事業」を実施することで、市内医療機関への就職者の確保につながり、かなりの成果が出ていると思う。しかし、介護の分野では、「介護学生奨学支援金給付事業」において、「奨学支援金利用者が当初想定よりも少ない。」と評価しているように、市内事業者は介護従事者の確保に非常に苦労している。介護ニーズが増加している状況のなか、国では介護職員の賃上げ等の対策を行っているが、必ずしも処遇を改善する方法だけでは解決すると思えない。市としても、助成金の支給だけではなく、より有効な方策について検討していただきたい。	実施検討	【介護保険課】 介護奨学生支援金の支給対象要件について、「卒業後速やかに介護福祉士として市内の介護事業所に勤務する」としていたものを令和4年度分から「卒業後3年以内に市内の介護事業所に勤務する」と改め、就職までの猶予期間を設けることで、当該奨学支援金利用者の増加と介護従事者の確保に努めております。 また、介護人材の確保の観点から、助成金以外に介護人材の掘り起こし等検討してまいります。

3 教育・文化・スポーツ

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
①就学前教育・義務教育	「学力向上推進事業」について、「中学校において英語4技能テスト（GTEC）を実施し、小学校からの外国語教育の成果を検証する」とあるが、その対象を2・3年生だけでなく、1年生にも実施してはどうか。その方が小学校での英語教育の成果を確認できるのではないか。	実施困難	【学校教育課】 GTECは義務教育最終段階の習得状況を確認するため、中2・3年生で実施し、成果の検証及び事後指導に役立てております。小学校高学年における英語が教科化されたことも踏まえ、今後は、小学校での習得状況も検証することを検討してまいります。
	「インクルーシブ教育推進事業」について、「推進センターの機能を活かした就学指導で、自閉症・情緒特別支援学級から7名が転籍した。」とあるが、かなりのご努力があったのだと思う。転籍後の支援もしっかり行っていただきたい。	実施予定	【学校教育課】 特別支援教育推進センターを中心に、巡回指導や就学前からの一貫した教育支援を行ってきた成果が表れていると考えております。今後は、個々の教育的ニーズに応じながら、通常学級におけるユニバーサルデザイン化に努めることで、転籍後の支援を行ってまいります。
	インクルーシブ教育はたくさんの難しい問題をはらんでいる。例えば、いじめの問題など、子どもの現実は大人が考える理想とは違い、見えない部分で難しいことが多い。スクールカウンセラーを効果的に活用するなどして、子どもたちが満足のいく教育を受けられるように、引き続き取り組んでいただきたい。	実施済	【学校教育課】 学校現場が抱える長期欠席・不登校・いじめ問題等の要因は、家庭環境、友人関係をめぐるトラブルなど様々であります。引き続き、スクールカウンセラーを交えたケース会議を行ったり、共通支援シートや個別の指導計画を用いた指導を行ったりするなど、校種を越えた切れ目ない支援を行ってまいります。
	ICTを活用できる環境が本市では整っており、リモート授業等の対応も可能とのことなので、現在オミクロン株が急拡大しているが、柔軟に対応していただきたい。	実施済	【学校教育課】 本市は国のGIGAスクール構想に先駆け、ICT活用教育に取り組んでまいりました。児童生徒は、授業中、一人一台端末を日常的に活用しており、コロナ禍における学級閉鎖時にもオンライン学習ができる体制を整えております。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
② 大学・高等学校	達成目標に「市内行事に参加したことがある大学生の割合」を掲げているが、「大学の本市に対する貢献度」のような指標により評価を行ってもよいのではないか。	実施困難	【総合政策課】 「大学の本市に対する貢献度」のような指標は具体的な数値で表すことができないと考えております。
	市民にとっては、大学は気軽に訪れることができる場所ではないので、大学側から出かけて市民講座等を実施してはどうか。	実施予定	【総合政策課】 大学は令和4年度の市民公開講座を4回開催する予定としておりますが、この内3回を、N i U新見駅西サテライトで行う予定としており、多くの市民が参加しやすい環境づくりに努めてまいります。
④ 芸術・文化・文化財	「新見美術館特別展開催事業」について、美術館での様々な催しは大変多くの方々に関心をもたれており、素晴らしい成果を挙げられていると思う。リピーターも多いということを聞いているが、もっと市民が足を運びやすい環境を整えてはどうか。公共交通機関が通ってないということは非常に残念なことであり、催し時期に路線バスを運行するなどしてはどうか。	実施検討	【生涯学習課】 路線バスの運行については、J Rとの接続や通勤通学時間帯への調整、時刻表の調整など難しい部分がございます。また、現在の来館者の交通手段は、9割近くが自家用車の来館であることから臨時バスの運行も難しいと考えております。しかしながら、来館者の利便性を図ることは重要であることから、他の最適な交通手段の確保が可能かどうか研究しているところであります。

4 安全・生活基盤 意見等なし

5 都市基盤・交通

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
① 道路	道路は日常の生活を支える重要な交通基盤である。特に橋梁については、通行止めがあった場合、他の橋梁まで迂回しなければならず、市民生活に与える影響が大きい。達成目標に「長寿命化対策橋梁数（通算）」が掲げられているので、確実に対策を進めていただきたい。	実施予定	【建設課】 「長寿命化対策橋梁数（通算）」については、今後も「新見市橋梁長寿命化計画」及び「新見市橋梁維持管理計画」に基づき計画的に実施してまいります。
②住環境・情報通信	2020年の春から次世代通信である5Gがスタートした。国が推進しているデジタル田園都市国家構想には5Gの整備を加速するということで、2023年度には人口カバー率で9割に引き上げると言われている。新見市においては、各携帯会社に対して対象範囲を拡大するよう働きかけるなどの取組とともに、5Gを活用したデジタル化について、しっかりビジョンを持って、他の自治体よりも早く取り組み、豊かな市民生活につなげていただきたい。	実施予定	【情報政策課】 デジタル技術を活用したDXを積極的に推進することとして「新見市DX推進方針」を定めており、この方針に基づく施策を着実に推進する中で、5Gの通信環境を有効に活用してまいります。
	駅周辺のまちづくりについては、駅前の賑わいが、人を呼んでくるということにつながると思うので、「新見駅周辺まちづくり基本構想」には、賑わいづくりについても盛り込んでいただき、まちづくりを進めていただきたい。	実施済	【都市整備課】 「新見駅周辺まちづくり基本構想」には、同構想に掲げる将来像の実現に向けて、本市の玄関口としてにぎわい・交流を創出することなどを目標に、28項目の施策が盛り込まれ、まちづくりを進めていくこととしております。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
②住環境・情報通信	「立地適正化計画策定事業」について、近年ゲリラ豪雨等が各地で多発している状況を考えると、雨水や用水等の改善工事を早急に行わなければ、計画地域への住居の誘導は難しいのではないかと。	実施予定	【都市整備課】 立地適正化計画では、都市計画区域内で居住を誘導すべき区域として「まちなか居住区域」を設定しております。この区域は、土砂災害特別警戒区域および未対策の土砂災害警戒区域などを除いております。また、令和元年9月豪雨災害を受け、ゲリラ豪雨等による浸水被害を軽減するため、既に、西方と金谷地区では、雨水対策工事を進めております。また、新見と高尾地区については、令和3年度までに雨水対策のシミュレーションを実施し、今後、雨水対策工事を進めることとしております。
③公共交通	令和3年度には、様々な利用促進策を行ったとのことだが、ターゲットを絞った利用促進策を講じていけば良いのではないかと。例えば、通勤・通学者への自転車の無料貸出や、駐車場の無料化など、いろいろな取組を実施することによりニーズが把握できると思うので、そういった社会実験も実施してはどうか。	実施予定	【交通対策課】 令和4年度は、グループ利用にターゲットを絞った取組の「3人グループを作って鉄道に乗ろう！」や通勤利用のニーズを把握するための「市職員の鉄道利用促進に向けた取組」などを実施する予定としております。 また、鉄道の魅力を伝える講演会を予定しており、利用促進の意識を高めるとともにニーズの把握にも努めてまいります。
	持続可能な公共交通を維持することについて、評価シートの中に全体的な評価がされていないのではないかと。	実施予定	【交通対策課】 いただいたご意見を踏まえ、令和4年度（令和3年分）評価では、評価シートの中で全体的な評価を行ってまいります。

6 環境

意見等なし

7 交流・コミュニティ

調査対象となる意見等なし

II 第2期新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1 重点目標1（稼ぐ地域をつくり、地域内経済が好循環する環境をつくる）

第3次新見市総合計画の「産業・経済」の意見に同じ

2 重点目標2（都市から新見へ 新しい人の流れをつくる）

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
ー	求人情報の提供や就職相談を行う雇用対策事業はとても良い取組だと思う。就職相談員の確保が今後の課題としているが、継続することが大事だ。	実施予定	【商工観光課】 事業は定着し、ニーズも高く、着実に雇用確保へつながっていることから、今後も継続していくために、後継候補者の選定及び育成も検討してまいります。
	空き家バンクの登録件数が少ない印象を受ける。各地区にある地域運営組織などに、登録を推進・協力してもらえるような制度を設けてはどうか。	実施予定	【移住・定住推進課】 老朽化が進む前の利活用が可能な状態で、空き家情報バンクに登録いただけるよう、制度の周知を行うとともに、地域運営組織などにも登録について協力いただくよう、連携を図ってまいります。
	移住施策については、幅広く移住者を募集するだけでなく、世代やＩＪＵターン希望者など、ターゲットを絞った施策を展開してはどうか。	実施予定	【移住・定住推進課】 ターゲットを絞った戦略は重要であると考えており、これまでの移住者や全国的な移住者の傾向を分析し、移住戦略を検討してまいります。

3 重点目標3（若者が結婚・出産・子育ての希望を実現できる地域をつくる）

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
－	市内の病院では、夜間に産科医がいない状況もあると聞いている。出産は危険をはらんでいる場合もあるので、登録制で救急車が使える制度や、県南の病院と連携してドクターカーを導入するなど、妊産婦がより安心して暮らせるよう検討してはどうか。	他の方法 で対応中	【健康医療課】 妊婦の4割が市内医療機関で出産しております。市内医療機関で出産をする妊婦に対しては、医療機関から事前に診療体制や夜間の対応等について説明を行い、早めの受診や入院をすすめております。特に夜間は医師と密に連絡を取り、安全に安心して出産できるよう配慮しており、医師の判断により救急搬送する場合も複数の受け入れ病院を確保し対応しております。 また、ドクターカーについては、現在、重症外傷傷病者のみの試行的運用を行っており、どの範囲の対象者まで今後対応するのか研究している状況であります。
	結婚推進事業は、人口減少対策において重要な取組だ。カップリングパーティーを様々な場所で開催し、出会いの場を広げるよう取り組んでいただきたい。	実施済	【総合政策課】 コロナ禍でも出会いの場が提供できるよう、令和3年度はオンラインによるカップリングパーティーを初めて開催しました。今後も社会情勢に柔軟に対応しつつ、一人でも多くのカップルが誕生するよう、出会いの場の提供に努めてまいります。

4 重点目標4（安心して暮らし続けられる持続可能な地域をつくる）

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
ー	市内には独居高齢者や高齢者のみの世帯が多く、その方々が困った時に相談できる、誰にでもわかりやすいシステムが構築できないか。	実施済	【福祉課】 本市では、関係機関等（福祉部介護保険課、健康医療課、新見市社会福祉協議会等）で連携を密にしておりますので、福祉部福祉課または、介護保険課・地域包括支援センターへご相談いただければと考えております。 また、地域の民生委員・児童委員（厚生労働大臣から委嘱された非常勤の公務員）も、地区住民の様々な相談に応じ、行政などの適切なサービスへのつなぎ役として活動しておりますので、お気軽にご相談いただければと考えております。民生委員・児童委員の活動内容については、見守り活動などで周知してまいります。
	「クアオルト健康ウォーキング事業」について、課題として「参加者が増加しなければ、事業の方向性を見直す必要がある。」とあるが、健康寿命を延ばすためにも非常に良い事業であると思うので、継続できるようイベントで活用するなど、実施方法を検討してはどうか。 （反対意見として）事業目的は良くても、参加者が少ない事業については、財政面な面からも柔軟に見直すべきではないか。	実施予定	【健康医療課】 令和4年度からは健康づくり事業の一環として、おでかけ健康教室等でクアオルト式の健康ウォーキングを普及したり、公民館事業等においてクアオルト健康ウォーキングを利用してもらうなど利用促進を図ってまいります。また、市内企業とタイアップし、働き世代への運動習慣の定着に向けたきっかけづくりとしてクアオルト健康ウォーキングを実施する予定としております。
	「新見市版地域共生社会構築事業」について、課題として「市街地など機運が高まりにくい地域へのアプローチを継続していく必要がある。」とあるが、機運が高まりにくい要因をどのように分析しているか。	その他	【総合政策課】 要因としましては、例えば思誠学区では、エリア内の人口が多く、振興会などといった地域の核となる母体組織がないことが挙げられます。現在は、小地域ケア会議などに出向いて、地道な説明を行っている状況であります。

Ⅲ 地域再生計画

1 新たな暮らしが見つかるまち 移住・定住プロジェクト

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
—	立地適正化計画に基づき、市が居住エリアとして特定の地域に人口を誘導する施策を展開する際には、現在は移住者のみが対象となっている空き家活用（購入・改修・家財整理）による助成を市民も対象とするようにしてはどうか。	実施済	【移住・定住推進課、都市整備課】 令和４年度から、市内在住の４０歳以下の方、または、中学校を卒業するまでの子を養育している方も、空き家改修などの補助対象とするよう制度改正を行いました。
	幅広く移住者を募集することも大事だが、ターゲットを絞って魅力を発信すれば、移住者も増加するのではないか。そのためには、現在移住してきている方々の年代や目的をしっかりと分析する必要があるのではないか。	実施予定	【移住・定住推進課】 ターゲットを絞った戦略は重要であると考えています。これまでの移住者や全国的な移住者の傾向を分析し、移住戦略を検討してまいります。

2 神郷紙の館と日本一の親子孫水車を活用した地域特産品生産拡大事業

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
—	水車で搗精するだけでなく、神郷地域でハデ干ししたお米を水車でつくという付加価値をつけて販売してはどうか。	実施困難	【神郷支局】 以前は当地域でも所々でハデ干しが行われておりましたが、作業の効率化等により、現在はハデ干しを行っている所を見かけなくなっております。 ご提案いただいた内容は、地域の特産品づくりにおいて良い事だと考えますが、昨今の米を作る状況下においてハデ干しした米の入手は容易でなく、実施は困難と考えております。
	水車のライトアップなどにより、一定の集客はあると思うが、施設の維持管理に多くの経費がかかっているのではないかと思います。適切な管理運営を行っていただきたい。	実施予定	【神郷支局】 当該施設は平成3年に建てられ、老朽化が進んでいることから、適切な管理運営を行うためには修繕等も必要であります。 当施設の維持管理につきましては、指定管理者において適切な管理がなされているところであります。 今後もより良い施設となるように指定管理者とともに考えてまいります。

IV その他

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況
—	市からの回覧について、回覧が滞ったり、高齢者だと隣へ持って行くのが難しかったりすることがある。また、文字だけ羅列している文章では高齢者に伝わりにくいのではないか。特に申請書類については、申請したいけど分からない人もいる場合がある。いいことは書いてあっても伝わっていない部分が現実としてあるということもないがしろにできないのではないか。	実施済	【秘書広報課・総合政策課】 市報・回覧に関しては、総交代の時期に、早めに配布いただくよう文書でご案内しています。また、外出が困難な方に対しては、その方用の市報にしみと併せ、回覧部数を追加する対応も行っております。本市作成の回覧文書については、平易な表現となるよう、庁内に周知してまいります。 また、市報にしみの内容については、限られたページの中でできるだけ分かりやすい表現で表記するように努めております。特に、分かりづらい制度などは、できるだけ表や図を用いて分かりやすくするように工夫しております。